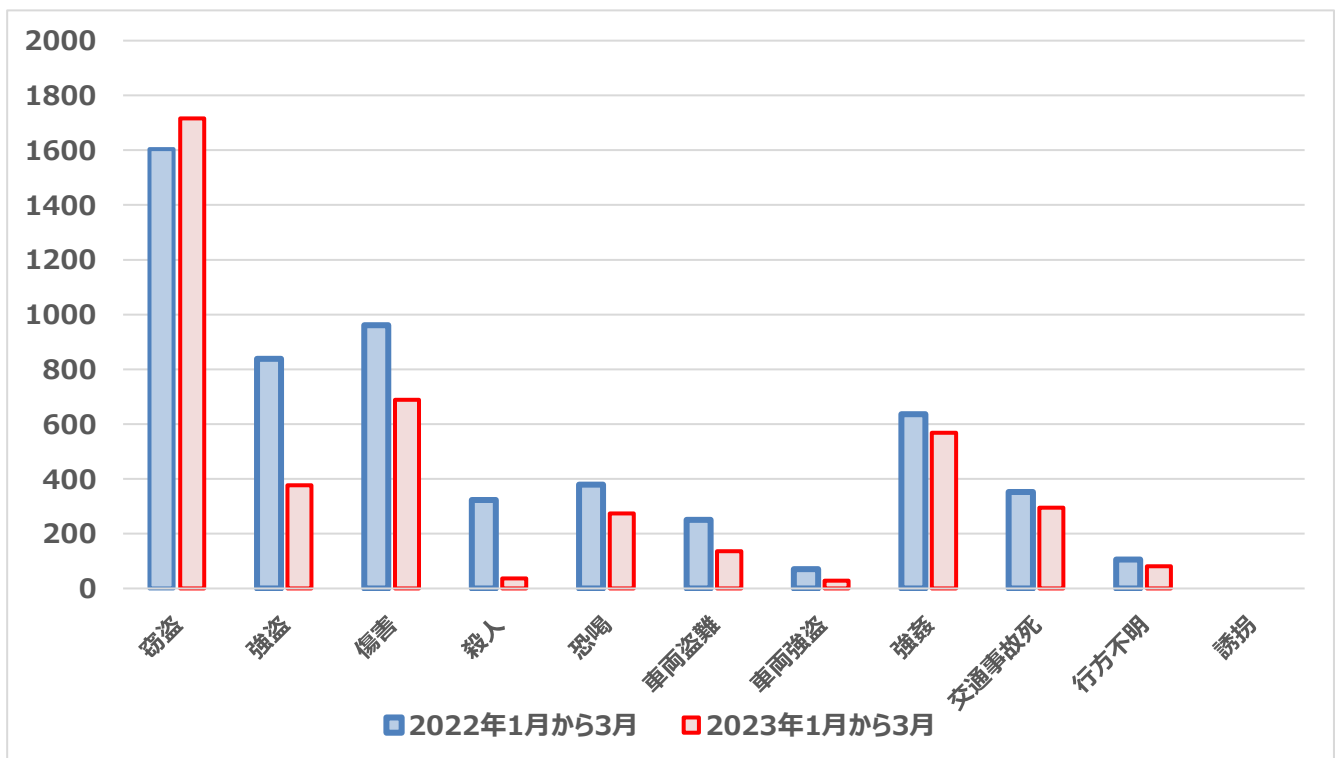


海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

2023 年 1 月から 3 月におけるエルサルバドル国内での犯罪統計は以下のとおりです。

	2022 年 1 月から 3 月	2023 年 1 月から 3 月	前年差
窃盗	1604	1716	112
強盗	838	377	-461
傷害	961	689	-272
殺人	323	37	-286
恐喝	379	274	-105
車両盗難	250	136	-114
車両強盗	70	29	-41
強姦	636	568	-68
交通事故死	352	295	-57
行方不明	106	81	-25
誘拐	0	0	0
合計	5519	4202	-1317



2023 年 1 月から 3 月における主要犯罪発生件数は、2022 年の同時期と比較して減少傾向にあります。特に殺人件数については、2022 年 3 月に発効され現在も継続中である、「例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置）」によりギャングの取締りを強化した（これまでに 67,000 人以上のギャングが逮捕・拘束されたと報じられています）ため件数が大幅に減少しました。しかし、「例外措置体制」については、逮捕状なしでの容疑者の逮捕・拘束が可能であるため、不当な拘束や誤認拘束が発生する可能性について国内外からの問題提起がなされている他、ギャング側からの反発、拘束者の万一の大量脱走等による治安の悪化の可能性は否定できない状況です。また、「窃盗事件」については増加傾向にあるため、基本的な防犯対策を継続していただき、引き続き十分な注意が必要です。

2. 邦人被害事案

日本人の被害は報告されていません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

日本人の被害は報告されていません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

日本人の被害は報告されていません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特に報告はありません。

6. 治安関連報道

(1) 2022 年の麻薬押収量（1 月 6 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

エルサルバドル軍、警察及び検察の取り組みにより、2022 年はあらゆる種類の麻薬が 13 トン以上押収され、その価額は 3 億 375 万ドルとなった。メリーノ国防大臣は、「私たちが、麻薬密売との戦いで最高の成果を挙げた年であった 2021 年の押収量を上回る麻薬を押収し、その取引で得られる金銭が犯罪者の手に渡ることはない」と述べた。

(2) テロ対策センター（Cecot）（2 月 1 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

1 月 31 日、エルサルバドル政府はサンビセンテ県テコルカ市に建設された新しい大規模刑務所であるテロ対策センター（Cecot）の竣工式を行った。これは、2022 年 6 月 21 日に建設が発表されていたもので、「例外措置体制」及び「犯罪地域コントロール計画（PCT）」により拘束したギャングを拘留するためのもので、40,000 人収容可能であり、訪問者の禁止物品の持ち込み防止及び囚人の騒動や乱闘の防止・抑制が可能となる国際的に最高水準の刑務所となっている。

刑務所の特徴としては、市街地から遠く離れた場所に建設され、広さは 231,000 平方メートル、壁や電気フェンスで囲まれた建物がいくつもあり、囚人は外部とのコミュニケーショ

ンを取ることができなくなってる。また、監視塔が19基建設され、そこにはヘルメット、ブーツ、盾や武器を装着した警備員が常駐する。更に、国軍600人及び国家文民警察250人が敷地内外で警戒をし、緊急時には人員を補強する予定となっている。

(3) テロ対策センター (Cecot) への囚人移送 (2月25日及び3月16日付ディアリオ・エルサルバドル紙)

2月24日及び3月15日に、国内の各刑務所から囚人が2,000人ずつ2回、合計4,000人がテロ対策センター (Cecot) に移送された。囚人は、ソンソナテにあるイサルコ刑務所とラ・エスペランサ刑務所からバスで移送され、移送中の安全確保のために検問所が数か所設置された。囚人は、そのほとんどが18S (スレーニョス) とMS (マラ・サルバトルチャ) を示すタトゥーを入れており、手錠をかけられたまま一人ずつテロ対策センターに連行され、新しい独房に収監された。

以上